

【ストップ温暖化「一村一品」大作戦 全国大会レポート】

全国に広げる 温暖化防止の取り組み

ストップ温暖化「一村一品」大作戦は、温暖化防止につながるような取り組みを公募し選考することで、地域の取り組みの掘り起こしと連携を目指す事業です。宮城県では「エコ de スマイルコンテスト in みやぎ」と題して開催、61 件の応募があり、選考会・県大会において塩釜市団地水産加工業協同組合が県代表として選出されました。

全国大会では 47 都道府県の代表が 4 分間のプレゼンテーションを行い、事前の書類審査と合わせて選考が行われました。どの取り組みも都道府県代表の座を射止めた兵ばかり。発表にも工夫を凝らしており、5 時間にも及ぶ長丁場にも関わらず、飽きることのない内容でした。

各県代表の工夫を凝らしたプレゼンテーション



最優秀賞 京都府代表



金賞 山梨県代表

最優秀賞を受賞した京都府代表は、京都府立北桑田高等学校森林リサーチ科の“地元の木を使って「ウッドマイレージ」を減らそう！”。地元の北山杉などの豊富な森林を衰退してしまった林業に代わり学生が自ら間伐、地元の建築材としてログハウスや家具を製作し、広めていく取り組みを行っています。地元を生かした地産地消、産業・行政・教育が連携した未来へつながる内容であったことが高く評価されました。金賞は山梨県の市民主体による小水力発電で、「風林火山」をテーマにした発表がありました。銀賞は富山県の路面電車の普及、銅賞は北海道の電気のいらぬ雪を活用した貯蔵庫による特産物の保管でした。その他にも、菜の花プロジェクトや脱クルマ運動、学校や温泉での取り組み、緑のカーテン、普及を目指した市民活動など多種多様な取り組みが集まりました。

他県での事例をもとに宮城でも実現できそうな取り組みもたくさんありました。この事業をきっかけとして、日本中で温暖化防止の活動の環が広がっていくことを期待します。

※宮城県での取り組みについては冊子にまとめ、配布中です。
 ※全国地球温暖化防止活動推進センターの Web-Site で結果一覧をご覧ください。

<http://www.jccca.org/content/view/1957/748/>